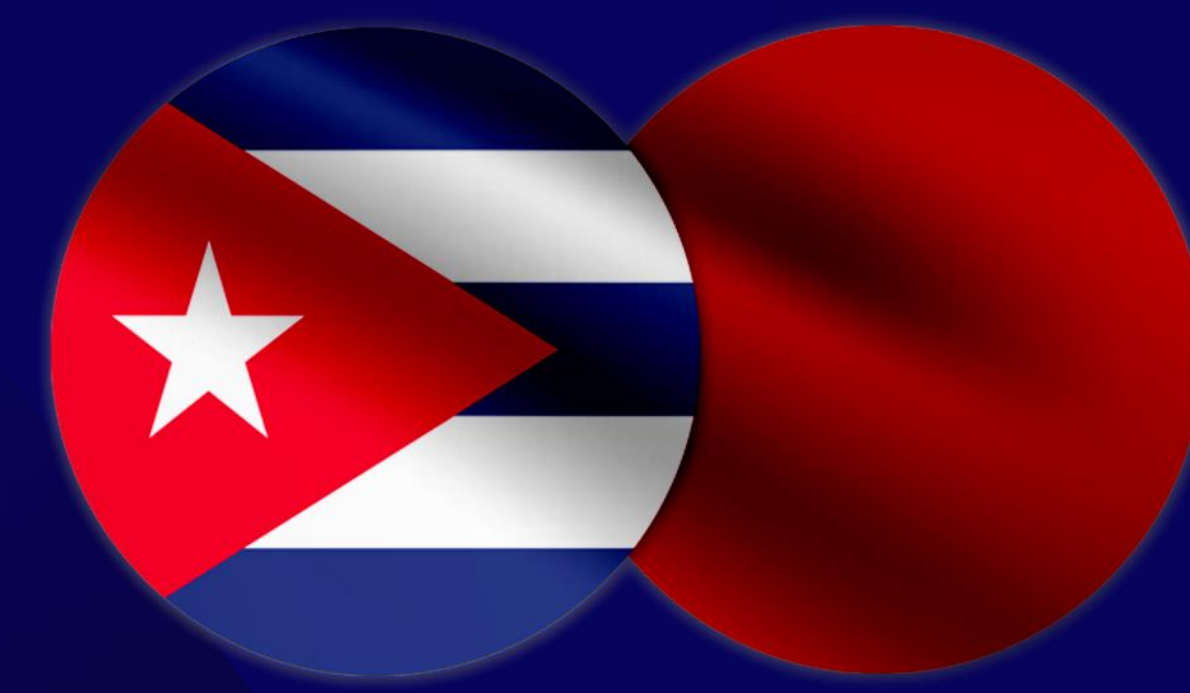


# キューバの現状～国内外の情勢



ミゲル・アンヘル・ラミレス駐日キューバ大使講演  
2020年9月23日

# 講演テーマ

1. 現トランプ政権下の米国による封鎖の影響
2. キューバvs新型コロナ感染症（COVID-19）
3. キューバ医療団：コロナウイルスとの闘いへの貢献
4. キューバ・日本：パンデミック情勢下での協力の機会
5. 現状況下での観光地としてのキューバ
6. キューバ：経済・社会改革



# 1. 現トランプ政権下の米国による封鎖 の影響

- 2017年来の対キューバ攻撃の激化は、我が国の経済・社会発展に対し、米政府が90件以上の措置を発動したことで明確。
- 封鎖強化の背景には、トランプ大統領再選をめざすキャンペーンがあり、規制の増加はフロリダ州の反キューバ保守勢力が歓迎。



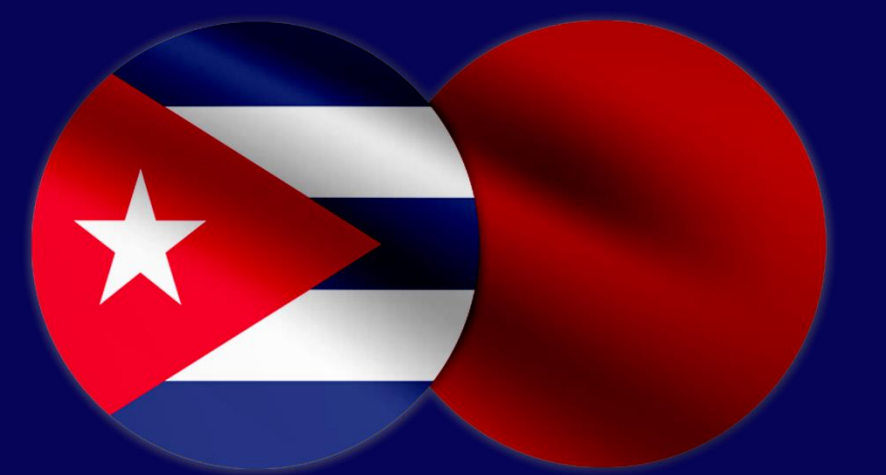
# 1. 現トランプ政権下の米国による封鎖 の影響

- COVID-19\_は米国の経済封鎖がキューバに及ぼす膨大な制約を明確に示すもの。
- 封鎖は、キューバがパンデミックに対応するために、あるいは国際援助を受けたり、行ったりするために必要な薬品、機器、資材を入手するうえで最大の障害となっている。



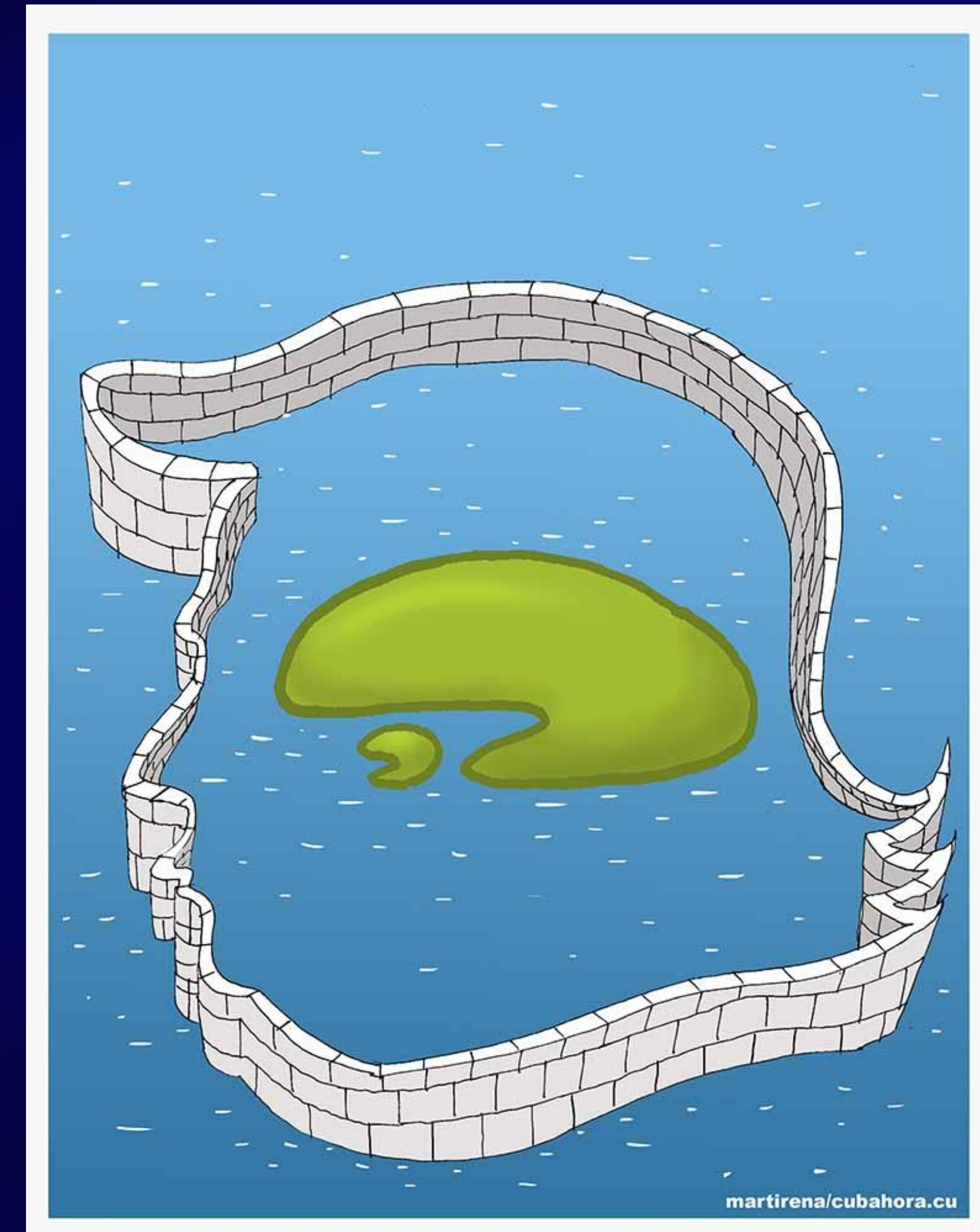
# 1. 現トランプ政権下の米国による封鎖 の影響

- 封鎖にもかかわらず、キューバは世界に連帯の模範を示している。コロナウイルスとの闘いを助けるために、世界の様々な国々に医療団と薬を送っている。



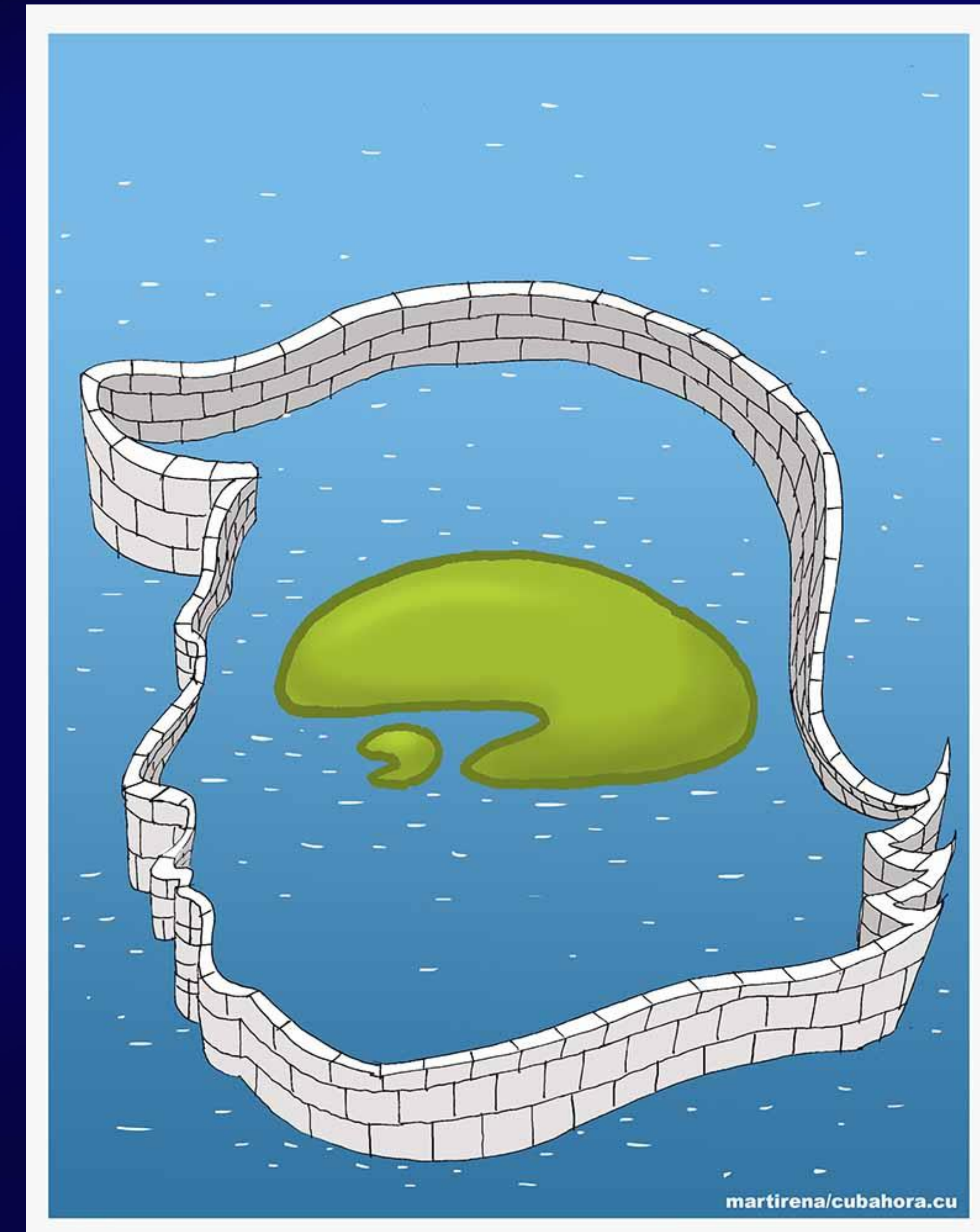
# 1. 現トランプ政権下の米国による封鎖 の影響

- 米国政府はキューバの国際援助への信用を落とすために、各国に対し、キューバとの医療協力協定を破棄するよう圧力をかけ、脅迫している。
- 新型コロナパンデミックの最中においてさえ、各国政府にキューバの援助を受けないよう圧力をかけてきた。



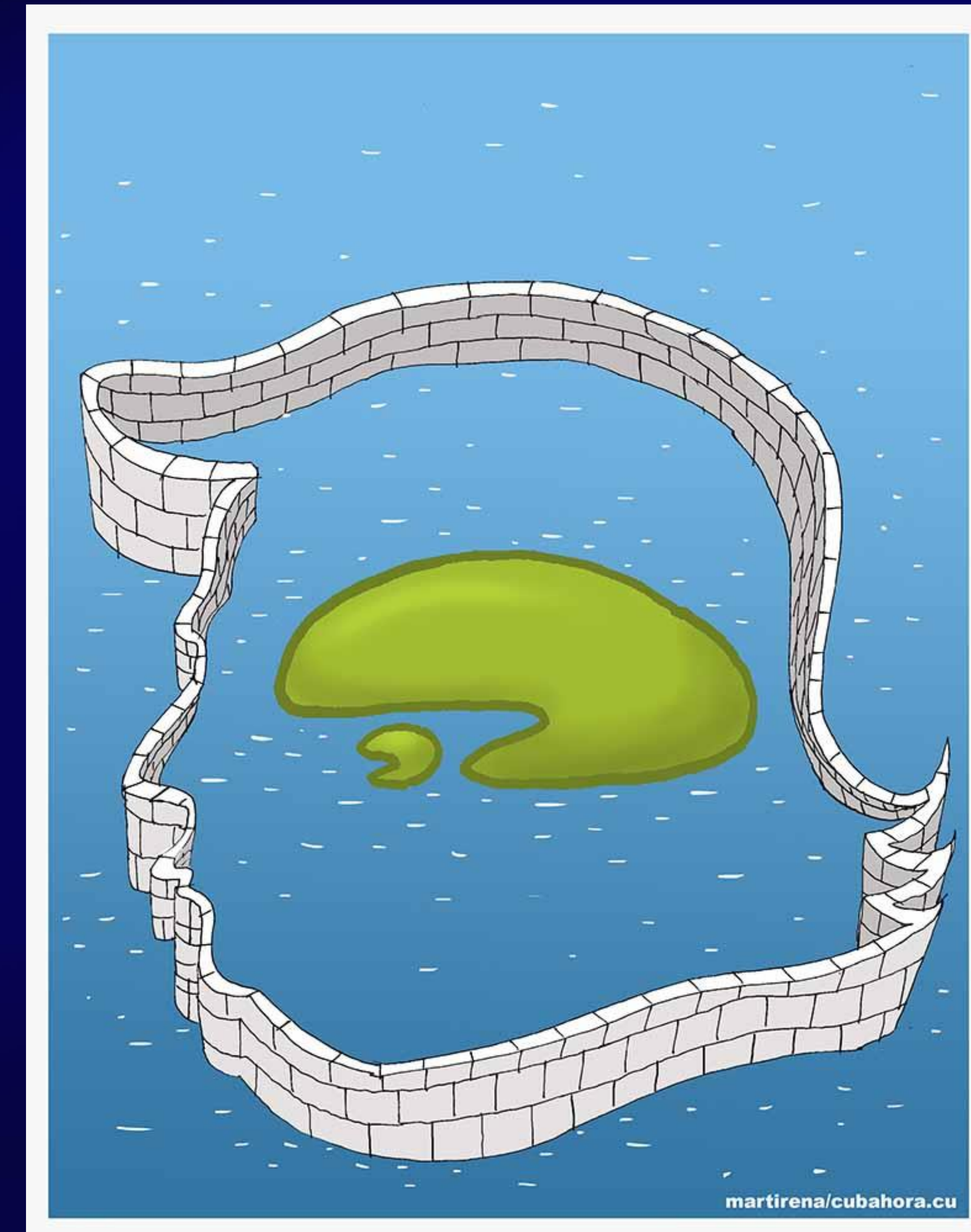
# 1. 現トランプ政権下の米国による封鎖 の影響

- 米国は、キューバが他の国々から寄贈・供給される物資を受け取れないよう、銀行や航空会社、海運会社に規制をかけた。
- 
- 2020年4月、中国のアリババ財団がキューバにマスク、スピード診断キット、人工呼吸器を送ろうとしたが、アリババがキューバへのそれら資材運搬のために契約した航空会社は、米国の制裁を恐れて貨物の受け取りを拒否した。



# 1. 現トランプ政権下の米国による封鎖 の影響

- 同月、スイスに本社のある IMT Medical 社 と Actromic Medical Systems社は、キューバの輸出入公団 Medicuba社の人工呼吸器の注文を、米国の経済・貿易・金融制裁を理由に断った。





## 2. キューバvs新型コロナウイルス感染症

- 9月21日現在、キューバの感染者は5,222人。
- 8074人が治療・観察のために入院中：6162人が観察中、1315人が陽性の疑い、597人が陽性確認。
- その時点までに、4506人が退院、117人が死亡。
- 現在までキューバのPCR検査数は554425件。
- 致死率は2.9%（保健省2020年8月発表）



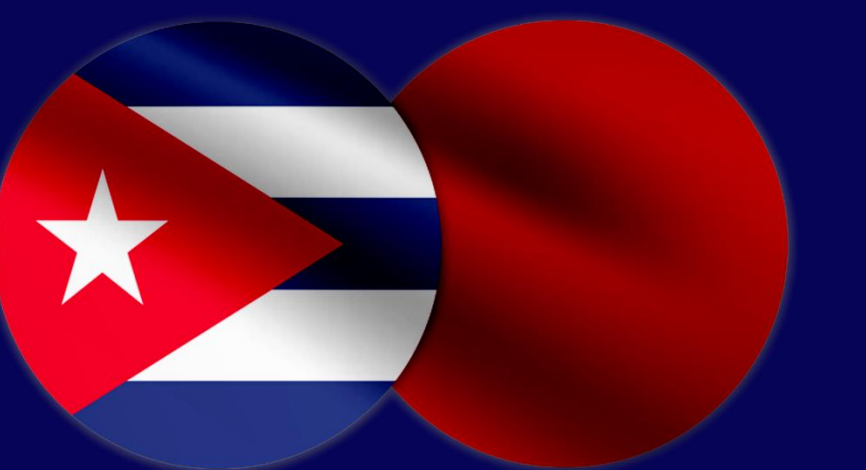
## 2. キューバ vs 新型コロナウイルス感染症

- 検査も治療も完全に無料。キューバ人患者も外国人患者も同様。
- 3月24日、国内在住キューバ人のみ入国許可、4月2日には国境封鎖。
- それ以来、入国するすべての渡航者は、症状のあるなしにかかわらず、14日間の隔離施設滞在。その場合も費用は国家が負担する。



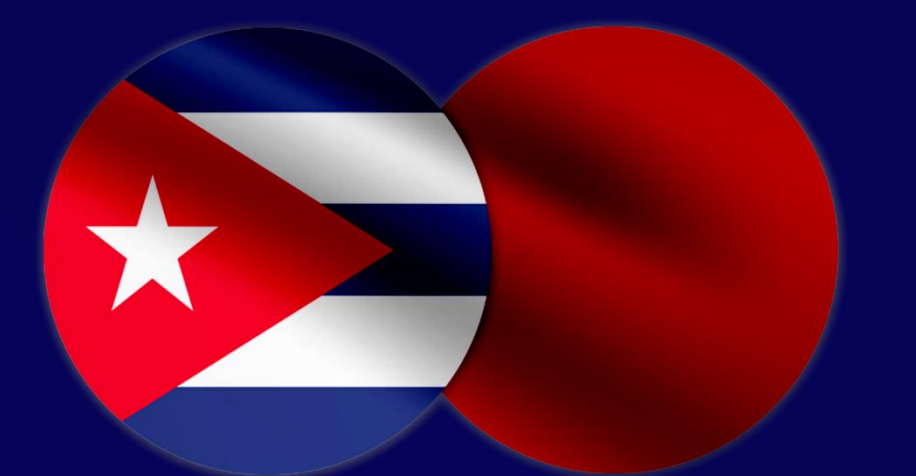
## 2. キューバvs新型コロナウイルス感染症

- キューバには保健省が作成したプロトコール（行動ガイドライン）があり、国内状況の変化や新型コロナウイルス感染症の新たな知見に合わせて更新する。
- プロトコールでは、感染予防ガイドラインと段階別の治療ガイドラインが定められている。

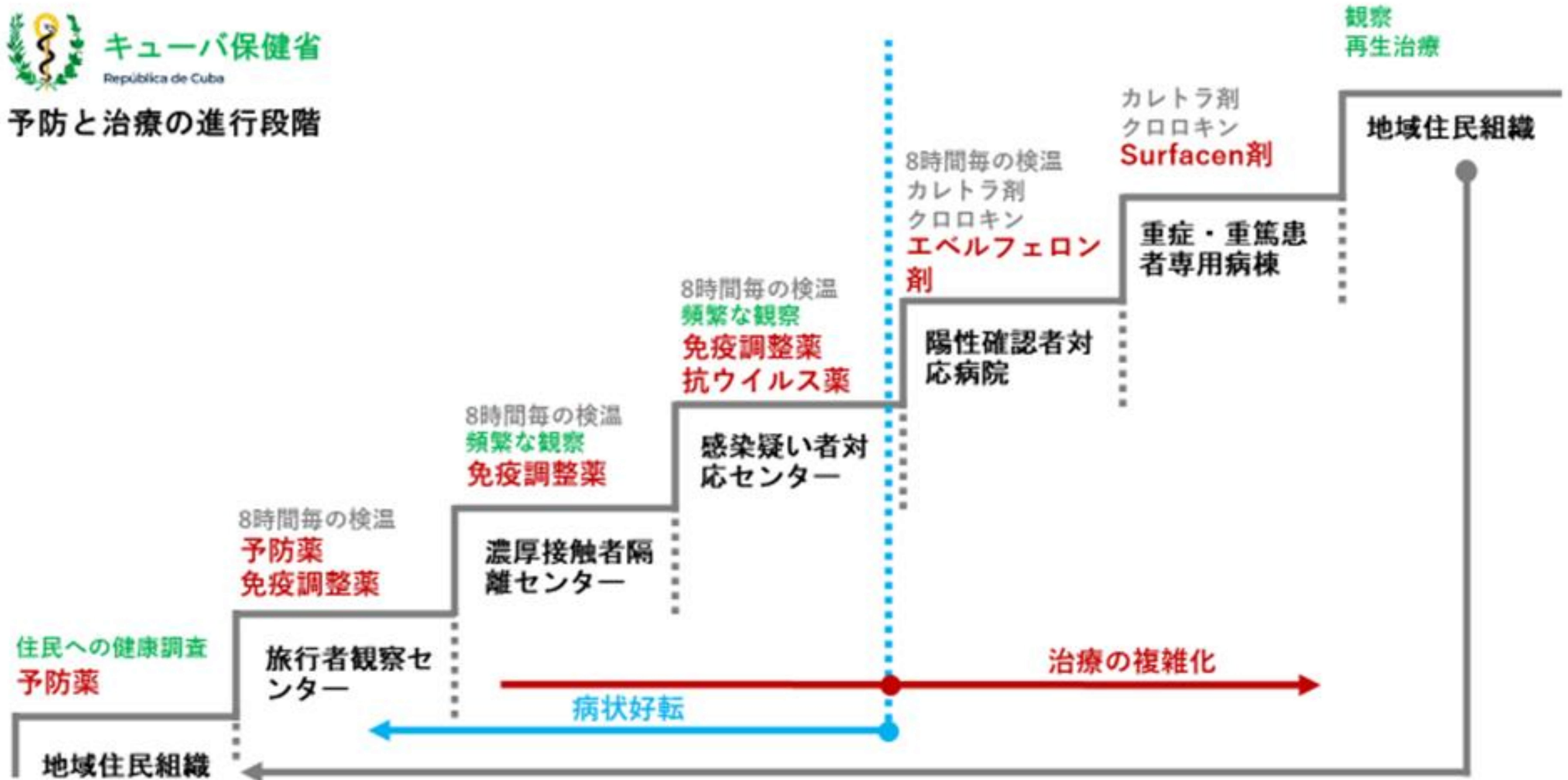


## 2. キューバVS新型コロナウイルス感染症

- 感染予防対策では、最初の段階として地域住民組織の行動から始まり、次に濃厚接触者やリスクの多い地域から来た人の隔離に続く。
- 濃厚接触者と特定されると14日間隔離施設で過ごす。

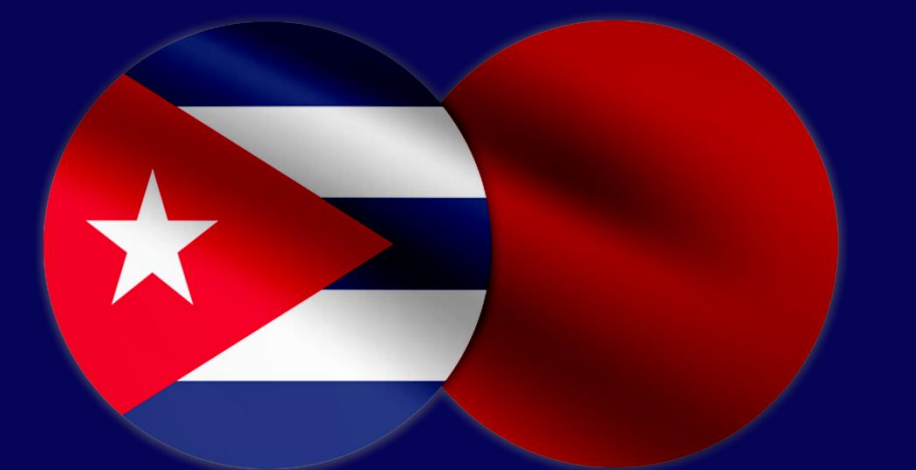


## 予防と治療の進行段階



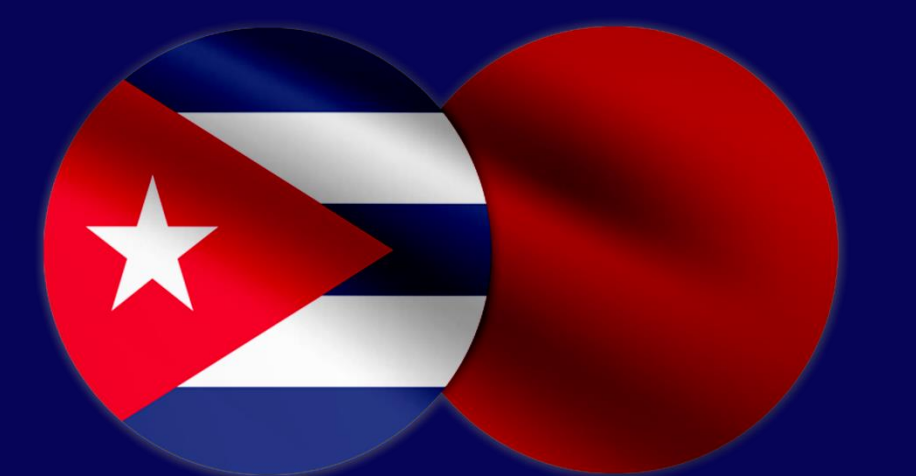
## 2. キューバ**vs**新型コロナウイルス感染症： バイオ薬品工業

- パンデミックに対処するキューバの戦略の一つは国内のバイオ薬品工業。
- 保健省が定める標準治療法的全薬品類の供給が保証されており、開発中の数件の薬品が新型コロナ感染症治療に使えるよう認可された。
- Nasalferon, Biomodulina-T, Hebertranasなどのバイオ薬品が、リスクのあるグループの感染予防のために使われている。
- すべての国民にPrevengHo-Virを投与。



## 2. キューバ**vs**新型コロナウイルス感染症： バイオ薬品工業

- HeberronやHeberferonは抗ウイルス薬剤として、JusvinzaやItolizumab は高炎症反応を防ぐために使われた。
- バイオ薬品は重症-重篤患者の減少に貢献し（7%減）、この感染症による死亡率を下げた（1/100 000）。
- いくつかの免疫誘導型のワクチンの開発も進んでおり、キューバでのこの感染症の最終的制圧に貢献するだろう。



## 2. キューバ**vs**新型コロナウイルス感染症： バイオ薬品工業

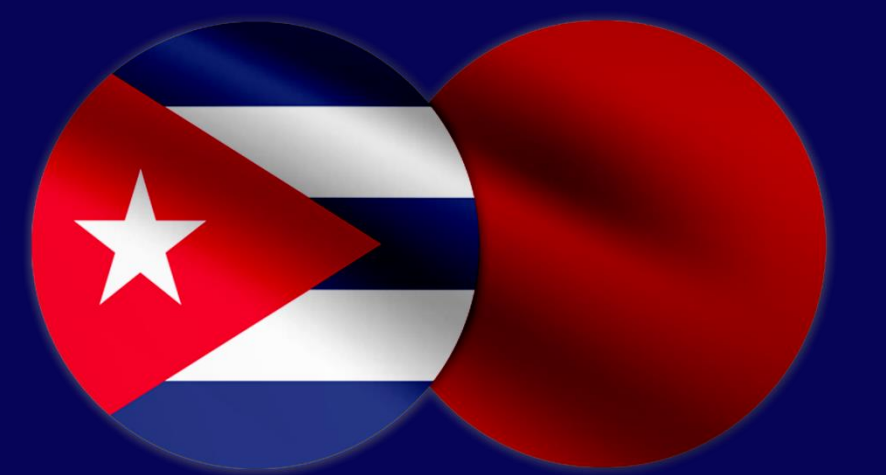
- キューバはすでに最初のワクチンを開発中。FR（フロント・ランナー）のカテゴリーに入り、「ソベラナ01」と命名。
- このワクチンは8月末に臨床実験の段階に入り、2021年2月には結果が得られる予定。





## 2. キューバ**VS**新型コロナウイルス感染症： バイオ薬品工業

- このワクチンは既存の技術・生産基盤に基づいており、キューバが開発し、すでに数年間使用して効果が実証されているワクチン基盤から出発している。



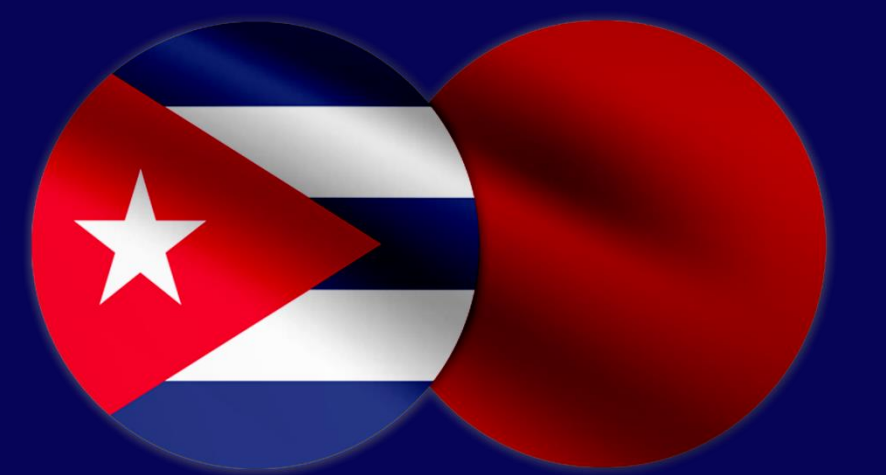
## 2. キューバ**vs**新型コロナウイルス感染症： バイオ薬品工業

- ワクチンの開発は少人数を対象とする臨床試験の第1段階をクリアしなければならない(すでにクリア済み)。
- 次に、治験者の人数を増やして第2段階。この段階では、必要な免疫反応が得られるか検証する。



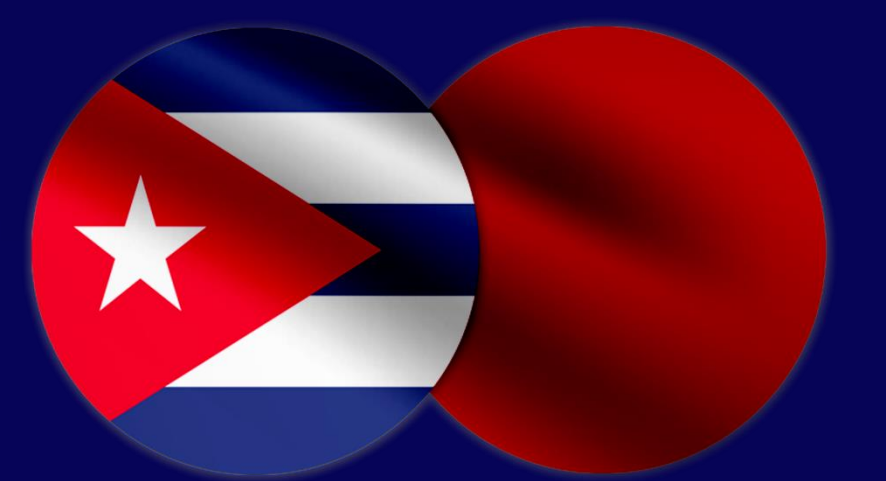
## 2. キューバ**vs**新型コロナウイルス感染症： バイオ薬品工業

- その次が第3段階（効力検証）。病気を予防できる免疫を得られる可能性があるにしても、そのワクチンが病気予防に効力があることを示さなければならない。



## 2. キューバ**VS**新型コロナウイルス感染症： バイオ薬品工業

- 世界では200件を超えるワクチンの開発が行われている。
- キューバが開発中のワクチンを含めて30件だけが臨床試験開始の承認を得ている。



## 2. キューバ**vs**新型コロナウイルス感染症： バイオ薬品工業

- 今日多くのワクチンを開発しているのは、中国、米国、英国、ロシア、ドイツ。
- キューバのワクチン候補「ソベラナ」は、ラテンアメリカで最初であり、経済資源の乏しい国では初めて。



### 3. キューバ医療団：COVID-19との闘いにおける貢献

- 「ヘンリー・リーブ国際医療団」（自然災害と感染症支援の専門医療団）は自然災害や感染症流行の被害国に人道支援、医療・衛生面での支援を提供し、復興に貢献する使命を担う
- 発生案件に応じて団員は24～48時間以内に即時動員される。大半の団員は国際医療協力の経験を有する。医療団への参加は自発的



### 3. キューバ医療団：COVID-19との闘いにおける貢献

- 21世紀における国際的な公衆衛生上の最大の脅威、COVID-19のパンデミック宣言を受け「ヘンリー・リーブ国際医療団」は諸外国から要請があれば協力できるよう準備を開始した



### 3. キューバ医療団：COVID-19との闘いにおける貢献

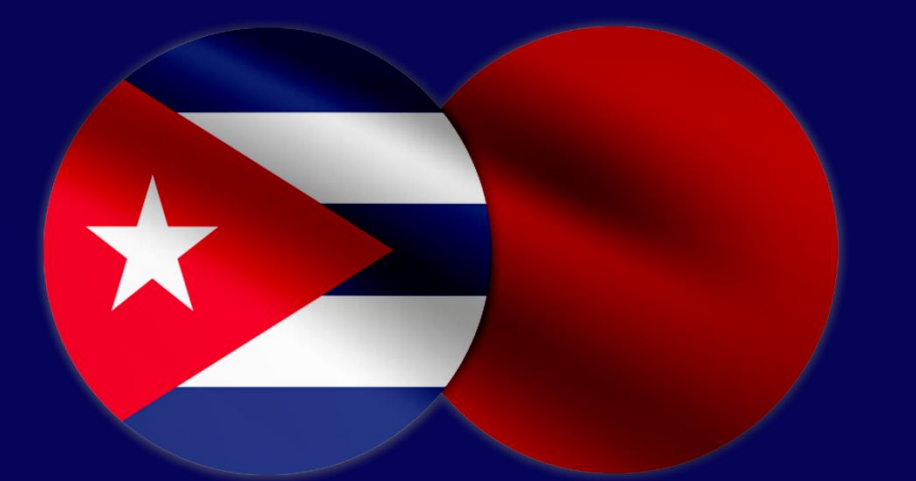
- 5か月間で派遣先国は38か国に上った
- 治療者数は355,785人、9,736人の命を救った
- キューバ人医療専門家3,700人が参加、うち61.2%が女性





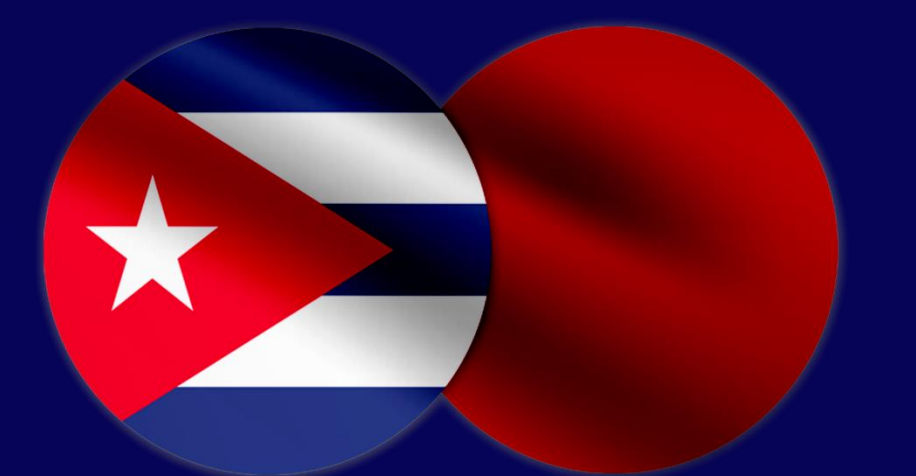
### 3. キューバ医療団：COVID-19との闘いにおける貢献

- パンデミック対応52部隊のうち、39部隊は現在も33カ国、5非自治地域で活動中
- キューバ医療団の目覚ましい貢献にもかかわらず、米国政府は大規模なメディア・キャンペーンを通じてその活動をおとしめ、キューバの支援を拒否するよう諸国に圧力をかけている



### 3. キューバ医療団：COVID-19との闘いにおける貢献

- 「ヘンリー・リーブ国際医療団」のノーベル平和賞受賞を求める国際的な動きが高まっている
- COVID-19との闘いに取り組むキューバ医療団の「2021年ノーベル平和賞」受賞を求めるプラットフォームがフランスで立ち上げられ、26カ国の200団体が賛同



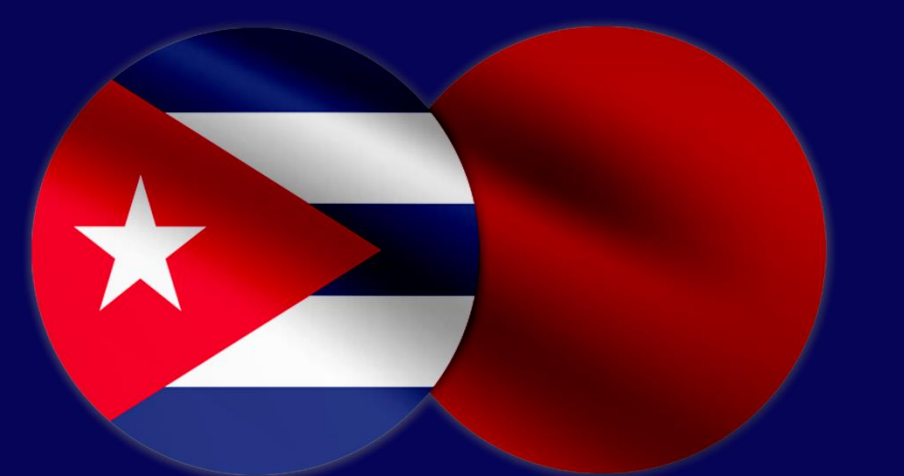
## 4. キューバ・日本：パンデミック情勢下での 協力の機会

- COVID-19の予防・制御戦略に係る知見の交換は両国を利することになる
- キューバの対COVID-19行動ガイドラインには約22の医薬品が含まれる。抗ウイルス薬、抗不整脈薬、抗生物質などがあり、合併症の治療に使用される



## 4. キューバ・日本：パンデミック情勢下での 協力の機会

- これらの医薬品の一部は諸外国でCOVID-19患者の治療に現在使用されている



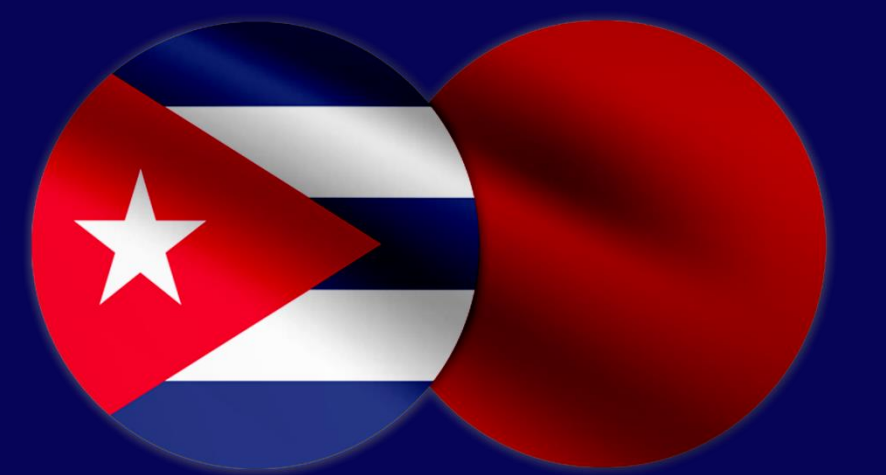
## 4. キューバ・日本：パンデミック情勢下での協力の機会

- 組換えヒトインターフェロンα2Bは中国でCOVID-19患者の治療に使用された
- キューバの対COVID-19行動ガイドラインが最初に承認した医薬品のひとつで、80カ国以上がこれまでに関心を示した



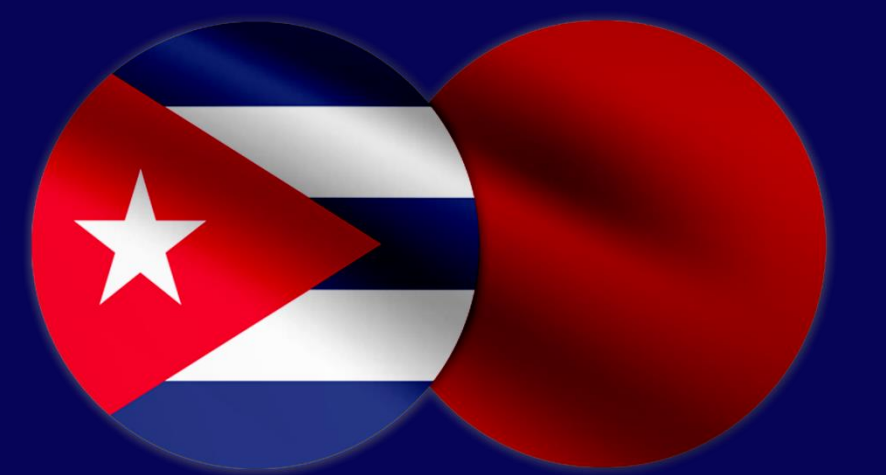
## 4. キューバ・日本：パンデミック情勢下 での協力の機会

- インドの医薬品規制当局はCOVID-19重症患者の治療向けにキューバ産医薬品Itolizumabの例外的使用を承認した
- BioCubaFarma企業グループのwebサイトによると、重症・重篤患者の60%がこの医薬品の使用によって呼吸機能を回復し、深刻な段階を脱した



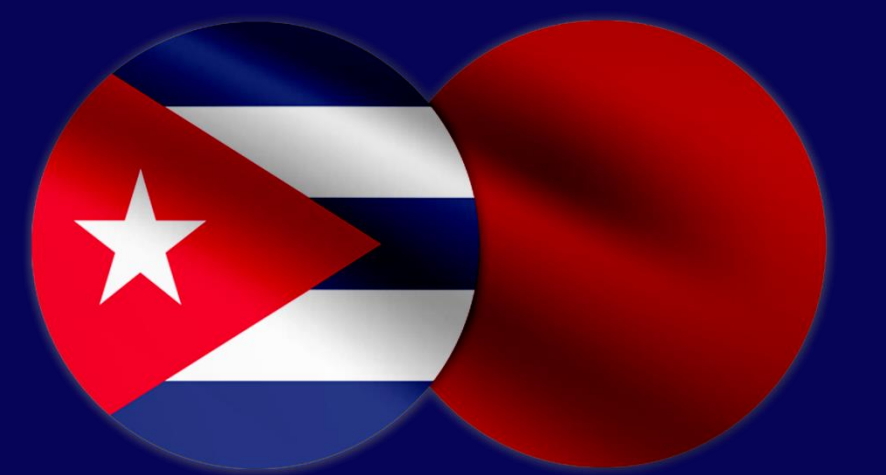
## 5.現況下での観光地としてのキューバ

- 観光業はキューバの経済発展をけん引する重要な産業である
- COVID19がもたらした新たな状況下において、観光関連施設が従業員や旅行者の健康を守るための対策を整備できるよう、「衛生安全ガイドライン」を策定



## 5.現況下での観光地としてのキューバ

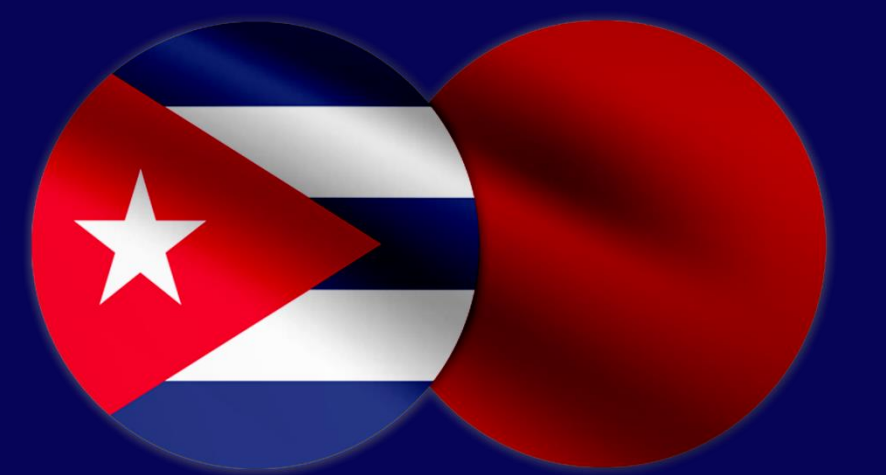
- 対策の一つとして観光客の入国を、カヨスと呼ばれる群島や、リゾート地など、地域住民との接触可能性のない一部地域に制限





## 5.現況下での観光地としてのキューバ

- 8月初め、カヨ・サンタ・マリアとカヨ・ココに受入再開後初の外国人観光客が到着
- キューバの重要な観光地の一つであるハルディネス・デル・レイでは、9月初旬、受入再開後初めてモントリオール発の便を受け入れた



## 5.現況下での観光地としてのキューバ

- エア・カナダ・バケーション（ツアーオペレーター）の旅行手配再開はわが国の衛生保健制度への信頼の証である。それらの地域の宿泊施設、観光関連施設、陸・海上旅客輸送は国によって、「より衛生的・安全な観光」の認証が与えられた。



## 5.現況下での観光地としてのキューバ

- 認証には衛生・安全ガイドラインの厳格な履行やPCR検査の実施、各宿泊施設における医師によるフォローアップなどが含まれる。



## 6. キューバ：経済・社会改革

- キューバ政府が段階的に進めている改革は、第6回及び第7回キューバ共産党大会から法治社会主義国家としての新憲法採択に至る道において得られた諸決定と合意を継続するもの



## 6.キューバ：経済・社会改革

- 現段階の改革は段階的に導入され、すべての改革が同時進行。経済発展に寄与する活動の展開にむけ努力を集中



## 6.キューバ：経済・社会改革

- 経済・社会戦略は、社会主義的性格を強化するキューバ経済モデルの運用にかかわる基本原則を考慮

基本的に、以下項目に基づく

- 中央による計画を維持。しかしマクロ経済及び非行政手法を導入、同時に中央による計画にすべての経済要素を含める国内生産を守り、輸入依存精神から脱却
- 主に間接的方法による市場規制
- 経済アクターの相互補完



## 6.キューバ：経済・社会改革

- 経済活性化のための内需の役割
- 企業により大幅な自主管理権を認める
- 経営・所有形態にかかわる重要要素の導入： 国営企業、非国営企業の再構築、両者間の適切な関係



## 6.キューバ：経済・社会改革

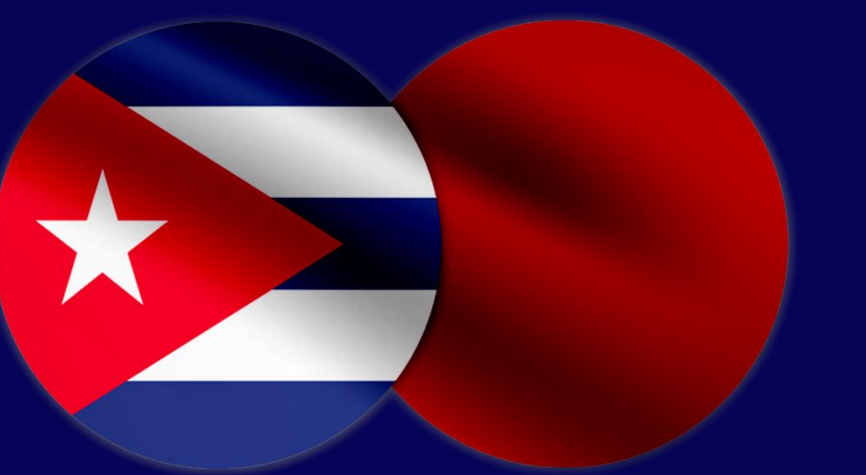
- 物的・金融的資源の効率的な活用を保障しつつ、競争力、節約、業務の効率性・勤労意欲を向上させる
- 社会整備に合致した積極的な環境政策





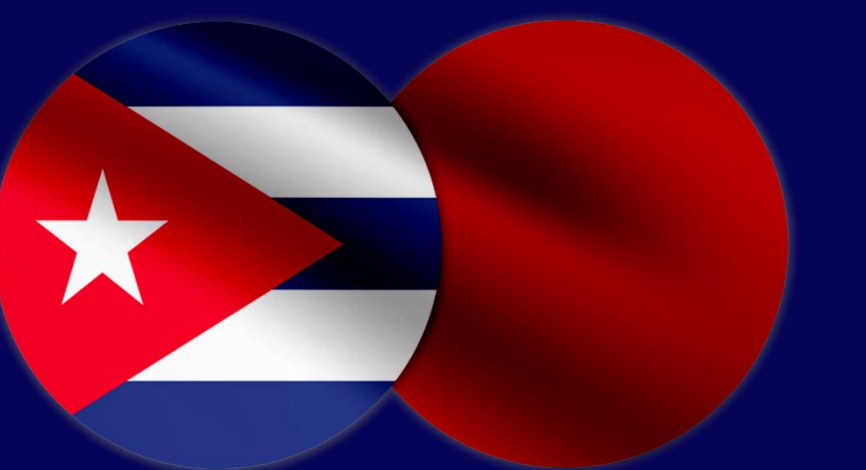
## 6. キューバ：経済・社会改革

- 経済・社会戦略の一部としての対策の一つが通貨・為替レート統一である
- 二重通貨の廃止、外貨交換ペソ（CUC）の流通を止め、キューバペソ（CUP）のみを流通させる
- その目的は、CUPを国際的に認知されるような対外貨レートに近づけ、取引を明確にすること



## 6. キューバ：経済・社会改革

- 通貨・為替レートの統一により経済活動の透明性を高めることができる
- これにより、どの企業が実際に利益を上げているか特定することができると同時に、輸出を促進し、輸入を抑制することができる
- 貧しい人々は保護される



どうもありがとうございます

